

友の会の広報活動にご協力を！



入会のご案内

神奈川県立 生命の星・地球博物館 友の会
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

自然に親しみ、自然を理解し、
博物館と会員相互の交流を図ることを
目的とした会です。

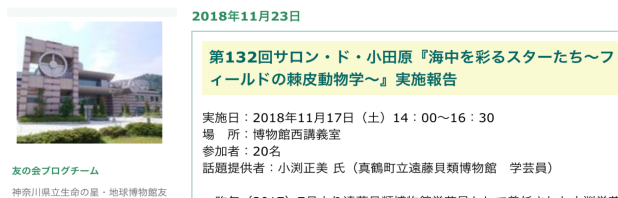
一緒に自然を体感しませんか

特典
1 自然科学の
仲間の輪が広がる

来て見て聞いて、触れて学んで話して…。
会員限定の講座に参加！ぜひ事業の企画や運営に参加して、

特典3 常設展観覧料の割引に、さらに無料優待券がプラス!

「友の会無料優待券」等がもらえます。
(会員の方と同伴ならどなたでもご利用になれます)



問い合わせ先：友の会広報部（Email:kpmtomo@ybb.ne.jp）

目次

- 一 グループ別報告・・・ 2
 - 一 事務部より
 - 一 情報クリップ
 - 一 企画部より（各グループからの活動報告）
- 行事案内・・・ 7

事務局より

2018年度友の会第3回役員会の開催

2018年9月15日（土曜日）午後より、前回も雨でしたが今回も雨の中、第3回の友の会役員会を博物館にて開催しました。

13時からの発送作業では、友の会通信、自然科学のとびら、行事案内といったいつもの配布物に加え、下半期の行事一覧をお送りしています。お読みいただき、是非ご参加いただければ幸いです。

役員会では、いつもの会員及び会計状況報告、広報部報告（通信や自然科学のとびら）と、3月に予定されているミューズフェスタや来年度の行事について話し合いました。

第23回 友の会総会・イベントについて

2019年4月28日（日）13時より、博物館 SEISA ミュージアムシアターにて第23回友の会総会、その後総会イベント、懇親会を行います。イベントについて現在、企画中です。連休中の1日ではありますが、皆さまにはぜひご参加いただきたく、よろしくお願いします。



昨年度の総会及びイベント案内

情報クリップ

友友の会会員数：432名（10月31日現在）

正会員：431名／賛助会員：1名

「2018年度子ども自然科学作品展」のご案内
開催期間：12月22日（土）～

2019年1月14日（月・祝）

観覧料：無料（常設展は有料）

小・中学生による夏休みの自由研究など自然科学に関する研究作品を展示します。たくさんの方の力作を、ご家族やご友人をさそって見に来ませんか。出品された作品すべてに博物館の学芸員からコメントが付けられています。

企画展「箱根ジオパーク展 一身近な火山と友だちになる」のご案内

開催期間：2019年3月2日（土）～

5月12日（日）

観覧料：無料（常設展は有料）

2012年に認定された箱根ジオパーク（箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町）は、南足柄市域にエリアを拡大し、2016年に日本ジオパークとして再認定されました。企画展では、箱根ジオパークの魅力と、私たちの生活に広く関わる箱根火山の噴火活動を紹介いたします。

ミューズ・フェスタ 2019

開催期間：2019年3月16日（土）・17日（日）

※フェスタの2日間は入場無料!!

ミューズ・フェスタは博物館の開館記念日を祝うお祭りで、この2日間は常設展示室も無料でご覧いただけます。友の会も出展するなど、子どもも大人も楽しめるイベントです。どうぞ皆さま、お気軽にお越しください。

問合せ先：神奈川県立 生命の星・地球博物館

企画普及課 TEL：0465-21-1515

FAX：0465-23-8846

活動報告（地学グループ）

◆地学G講座:『箱根火山の火山灰を調べてみよう』

2018年8月10日（金）／生命の星・地球博物館西側講義室／参加者：301名／講師：笠間友博 学芸員

火山灰を自らの手で洗い観察するという内容の講座でした。日常生活ではなかなか行う事のない火山灰を洗うという作業を、参加された方が苦戦しながらも楽しげに行っているのがとても印象的でした。また洗った火山灰を顕微鏡で覗いているときにも、配布した資料を見ながらどんな鉱物があるかをキラキラとした笑顔で探していらっしかったです。実際に体験しながら学ぶことで、火山灰に対する興味をより一層深めることができたのではないかと思います。（瀬戸千紘）



参加者で一杯の会場風景



今回も子ども達に人気NO.1の顕微鏡観察

◆地学G地話懇話会:『 Gondwana大陸の誕生と分裂—ナミビアの地質調査—』

2018年8月22日（水）／生命の星・地球博物館西側講義室／参加者：47名／講師：有馬 眞先生

昨年のジルコンやダイヤで太古の出来事を知るという講義に引き続き、今回は有馬先生のナミビアでの調査に基づいた Gondwana大陸を中心とした超大陸の形成と分裂について、プレートテクトニクス理論の説明から大西洋底のホットスポットによって形成された海嶺などについて、詳しく解説して頂きました。またダマラ変動帯のマッケレス角閃岩の説明など、専門的ではありませんでしたが大変興味深い話を先生のナミビアでの珍しい体験を交えながら楽しく聴くことができた等、次回の話題が大いに楽しみになる話題でした。

（大内義一）



有馬 眞先生による地話懇話会解説風景



地話懇話会の会場風景

◆日本地質学発祥の地埼玉県長瀬の地形・地質観察会

2018年9月1日（土）／埼玉県長瀬町／参加者：39名／講師：河田早苗氏（長瀬町観光協会ガイド）、山下浩之 学芸員

岩石学愛好者39名は厚木北方80キロある秩父長瀬の地質観察会に向かう。10時半より聖地日本地質学発祥地の石碑に拝礼し、全ての展示鉱物標本が純国産という埼玉県立自然の博物館展示品の三波川帯変成岩鉱物標本を見学しました。

ボランティアスタッフから三波川帯変成岩の成り立ちを懇切丁寧に説明して頂きました。その後荒川の河原で総天然記念物の結晶片岩（虎岩）を観察、バス移動し皆野中学校裏の蛇紋岩を、また紅簾石片岩上では直径が60cm位もある露天風呂のような穴（ポットホール）を観察しました。

昼食後長瀬岩畳に移動し、結晶片岩の岩畳上を約0.8km程歩行しながら和船やゴボートが川下りしている河畔岸壁の絶景を観察しました。最後の法善寺では寺宝として祀られている“和銅”という年号の基になった自然銅の鉱石を拝観し、帰路につきました。当日は雨模様を覆す好天に恵まれ、また往復の渋滞にも遭うことなく長瀬の地を充分堪能できました。＝回向文(修めた功德を自他に振り向ける)：“願(ねがわく)は…皆共に鉱物道を成るぜんことを。”(小林正行)



天然記念物の結晶片岩（虎岩）



埼玉県立自然の博物館展示品解説風景



参加者集合写真

講座中止のお知らせ

◆友の会地学G「横浜市栄区田谷町周辺の長沼層観察会（2018年11月17日（土））」は諸般の事情により中止となりました。

◆植物観察会「岩戸山の秋草を楽しむ」（2018年10月5日（金）／静岡県熱海市）は天候不順のため中止となりました。

◆昆虫観察会「見つけよう秋の虫いろいろ」（2018年9月26日（水）／足柄上郡中井町）は天候不順のため中止となりました。

サロン・ド・小田原

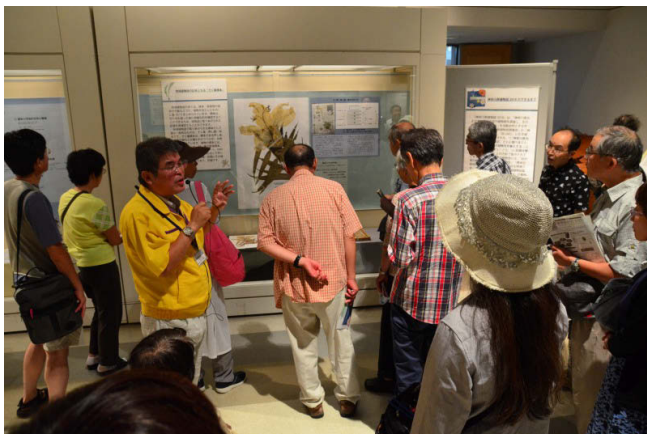
第131回サロン・ド・小田原 『神奈川県植物誌2018』でわかったこと

2018年9月8日（土）／博物館東西講義室・特別展示室／22名／話題提供者：田中徳久氏（当館学芸員）

特別展 植物誌をつくろう！～『神奈川県植物誌2018』のできるまでとこれから～に連携して開催期間中に開かれたサロン・ド・小田原には、47名もの植物愛好家が参加した。

最初に、田中徳久学芸員が、この大勢の参加者を引き連れて、特別展会場を解説して回ってくれた。田中学芸員は面白おかしく展示物を説明してくれたが、私は今迄に発刊された1988年と2001年の2冊の植物誌が恭しく展示されていたのと、サガミジョウロウホトトギスの大きな写真が心に残った。

解説の中で、特別展の図録(700円)の紹介もされ、この後ショップにて購入された方も多くお見受けした。



特別展示場での解説



特別展示場の植物誌

後段は、講義室に戻って、田中学芸員より、植物誌を作成する苦労話と今回の調査・まとめから見えてきたことなどが話された。

『神奈川県植物誌2018』のまとめは、かなり難解のようで、発刊は未だ先になりそうだ。今迄の植物誌編纂の歴史と今回の植物誌発行までの取り組みを伺って、県下111箇所の調査区踏査のご苦労などを感じ取ることが出来た。



話題提供の田中学芸員

また、今迄の積み重ねの中から過去と現在の植物の変遷が見て取れるのも面白いと思った。特に、帰化植物は、あれほど繁茂した種が、今はほとんど見られなくなっているものもあると言うのも印象的であった。

『神奈川県植物誌2018』は従来の紙媒体以外に電子版も出されると伺っている。私は1988年と2001年の2冊の植物誌を何故か所有している。さて、今回は電子版か紙媒体か、どちらにしようかと悩んでいる。

この日、特別展の図録がたくさん売れて、サロン・ド・小田原終了後、関係学芸員による図録へのサイン会が突発的に設定された。

(文章・写真 飯島俊幸)

活動報告（よろずスタジオ）

「キノコを楽しもう」

2018年9月16日（日）／博物館東側講義室／170名（大人113人、子ども57人）／友の会スタッフ5名

菌類分野ではここ3年、菌類の中でもキノコではない「カビや植物病原菌」を紹介する内容でしたが、今年は受けの良さを狙って、キノコを中心に据えました。



スタッフの協力で、大小20種ほどの本物のキノコを並べることができ、会場

が賑やかになって、開催側は大いに助けられました。

紙芝居で①菌類の生き方（体は糸で、キノコはその集合体。植物では種を作る花にあたる）、②いろいろなものを分解し元の土に戻す働きがある③しょうゆ、みそ、薬など人間にためになる働きもすることを紹介し、本物コーナーで様々な形・色の雰囲気の違いキノコを見比べてもらい、その後実体顕微鏡の下で、キノコのひだや、孔を拡大して観察してもらった。皆さん一様に、「きれいだ」とか「すごい」とか感想をもらしておられた。

最後は、恒例のパズルやスタンプで遊んでもらった。パズルには大人も引き込まれる不思議な魅力があるのだろう、なぜか毎年人気がある。

今回、来館の方から、「日曜日何かやってるから」とか「第三日曜日を狙って来た」との言葉が聞かれ、とても嬉しかった。この言葉は、「よろずスタジオ」が定着してきたのではと思われるし、博物館は展示だけではないことが市民に浸透した証でもあると思われる。7年間の成果が出始めているとすると、ここでやめてはだめだと背中を押された気がします。博物館に複数回来られている方も多く聞くので、博物館の存在が市民権を得ているのではないのでしょうか。

（友の会：赤堀）

「どうぶつのあしあと」

2018年10月21日（日）／博物館東側講義室／80名（大人37名、子ども43名）／鈴木聡学芸員、友の会よろずスタッフ4名

あしあとマットの上を歩く

会場の床に敷かれたマットの上を子供たちが左足、右足、左手、右手と動物の足跡に沿って進む。最初はヒグマ、歩幅が70cmと広いので、思いつき足で延ばし、手をついて、やっとの思いで進み、ゴールイン。



「ヒグマになれたね」のスタッフやお母さん、お父さんの声に自信をもらった子供たち、次はウサギやシカの足跡の上を歩こうと、意欲満々。子供たちの後から挑戦された保護者の方は、「思ったよりきついよ」の声。ぴよんぴよんウサギになったり、のっそりヒグマになったりと、「疲れる」、「大変」、「足が届かない」と言いながらも、子供たちはとても満足そうでした。

うと、意欲満々。子供たちの後から挑戦された保護者の方は、「思ったよりきついよ」の声。ぴよんぴよんウサギになったり、のっそりヒグマになったりと、「疲れる」、「大変」、「足が届かない」と言いながらも、子供たちはとても満足そうでした。

クイズに挑戦！だれの手？だれの足？

ライオンやカンガルー、シカなど、石膏で作られた足型を見ながらクイズに挑戦、これがなかなか難しい、手の指は何本に見える？手の形は丸い？長い？スタッフのヒントを聞きながら鉛筆を動かす。



クイズの正解は、鈴木学芸員の解説コーナーで。タヌキやハクビシン、モグラなどのはく製を前に鈴木学芸員がお話してくださいます。モ

グラの手の指は細くて長いね、二つの大きな爪が目立つのはシカだよとクイズの答え合わせをしていきます。そして赤丸をもらって子供たちは嬉しそうに会場を出ていきました。

（友の会 佐々木あや子）

行事案内

◆“よろずスタジオ”

対 象：子ども（当日の来館者）
申込み：不要／オープン
参加費：無料
場 所：博物館1階講義室（東側）

「砂と遊ぼう！」

日 時：2019年1月20日（日）13：00～15：00
砂は、どんな色やかたちをしているかな？
どんな性質があるのかな？
砂を使って遊びながら考えてみましょう。

「昆虫の体を見てみよう！」

日 時：2月17日（日）13：00～15：00
昆虫の小さな体には生きるための「くふう」がたくさんあります。
クイズやパズルをときながら、昆虫のからだを調べてみましょう。

「アンモナイトのレプリカを作ろう！」

日 時：4月21日（日）13：00～15：00
アンモナイトは大昔に生きていた動物です。博物館の壁にはいろいろなアンモナイトがたくさんいます。アンモナイトを作ったら次はみんなでアンモナイトさがしに行きましょう！

◆「地話懇話会 ～地学関連分野の話題を皆で気軽に話し合う～」…第4水曜日／開催月

場 所：博物館 西側講義室
対 象：友の会々員（原則）の当日来館者
参加費：無料（原則）…但し内容により有料（保険代、資料代等）
申込み：不要
＊状況により話題（講座内容）等の変更が有ります。

連絡先（代行）：入江和夫

【2019年1月度の話題】

日 時：2019年1月23日（水）15：00～16：30
（質疑応答時間を含む）
話 題：『三浦縦貫道路の工事露頭について』
話題提供者：笠間友博 氏（学芸員）

【3月度の話題】

日 時：3月27日（水）15：00～16：30
（質疑応答時間を含む）
話 題：『－1300頁余の地学巡検資料から見た－
友の会地学グループ20年の足跡』
話題提供者：蛸子貞二 氏（友の会）

◆ 地図を楽しもう！

フィールドに出て地図が読めればもっといろいろなことがわかるのに、という思いはありませんか？講座では地図に載っている様々な情報を知り、これを活用するためのコツを学びます。地図が少しでも理解でき身近なものになれば、情報満載の地図を持つてのフィールドは知的楽しさ倍増です。読図の方法を学び、地図をもって歩いてみませんか。



日 時：2月9日（土）10：00～15：30
場 所：博物館実習実験室・博物館周辺の屋外
講 師：新井田 秀一 当館学芸員
対 象：大人の方（小学高学年以上同伴も可）
定 員：20名（定員を超えた場合は抽選）
参加費：会員400円（地形図代・資料代・保険料など）非会員600円（同）
持ち物：筆記具、色鉛筆、昼食、申し込みはがき、お持ちの方はコンパス（方位磁石）
注意事項：午後は屋外に出ますので、歩きやすい服装と防寒への対応をお願いいたします。
締切り：1月26日（金）必着
問合せ：関口

◆ 第133回サロン・ド・小田原

「活火山・箱根の発見」

今回は、「ぶらタモリ」にもたびたび出演されている温泉地学研究所の萬年一剛主任研究員をお招きしてお話を聴かせて頂きます。

内容紹介

箱根火山は大涌谷の噴気活動があるにもかかわらず、以前はどちらかといえば不活発な火山であると考えられ、将来の噴火の可能性についても懐疑的な見方さえあった。ところが、21世紀に入ってから活動が活発化し、2015年にはごく小規模な噴火が発生した。箱根火山の地下はどのようなようになっていて、いま何が起きているのか。火山の基礎の話を踏まえた上で、箱根火山に関する、最新の研究成果を概観する。

日 時：2019年2月23日（土）

14:00～16:20 の予定

場 所：生命の星・地球博物館 1階講義室

話題提供者：萬年一剛 氏

対 象：大人（事前申込み不要）

参加費：無料

問合せ：博物館 TEL 0465-21-1515

（担当：松本、山下）

◆ ミューズフェスタ 2019 友の会コーナー

今回は、場所を変えて2階の図書室前のひろばと情報展示コーナーを利用して、友の会の2018年度活動をビジュアルに紹介します。

また、恒例になりました子ども向けワークショップ・「きのこのスタンプ」も実施します。



日 時：3月16日（土）、3月17日（日）

両日共に 10:00～15:00 の予定

場 所：博物館 2階図書室前のひろば

友の会主催行事の参加申し込みについて

往復はがきに必要な事項を記入して、友の会事務局までお送りください。FAXや電子メールでの受付は原則出来ませんので、ご注意ください（講座によっては可）。ご不明な点は友の会事務局へお問い合わせください。

■必要事項：行事名／開催日／参加者全員の氏名・年齢（学年）／会員番号／代表者の住所・電話番号／指定事項

注意！

■参加費は友の会会員1名分の金額で、内訳は資料代、傷害保険料です。それ以外のものは特記事項に記載があります。バスなど予約が必要な場合、参加者個々に材料を購入する場合などの講座参加確定後のキャンセルは、代わりの方をご紹介いただくか、参加費を負担していただく場合があります。

■オープンの行事は会員以外の方も参加できます（参加費が会員とは異なる場合があります）。

■小学生以下の参加は保護者同伴が原則です。

■チラシの発行されない行事もありますので、直接く連絡先へお問い合わせください。

■持ち物など詳細は返信はがきに記載されます。

—広報部より—

編集作業や新規企画提案など通信作成のお手伝いをしていただけると非常に助かります。お手伝いいただける方は、下記メールアドレスにご連絡ください。よろしくお願いします！

次号は、2019年3月15日発行予定です。

発行：神奈川県立生命の星・地球博物館友の会
Vol.22、No.3、通巻102号 2018.12.15 発行

編集：友の会広報部

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

TEL：0465-21-1515 FAX：0465-23-8846

E-mail：kpmtomo@ybb.ne.jp

Blog：<http://blog.livedoor.jp/kpmtomo>

Twitter：@kpmtomo